

いいで農村未来研究所

開所式・第1回まちむらづくり塾のご案内

多様化する農村の課題解決や将来の在り方を考えることを目的に「いいで農村未来研究所」を設立しました。8月の大雨被害の検証も踏まえ、利便性や効率性だけではない新たな物差しで「最も美しい農村」について、一緒に考えていきませんか。



開所式

日時 11月12日(土) 13:00~14:50

入場無料

場所 町民総合センター「あ~す」

内容 開所セレモニーと開所記念トークセッションを開催します。
トークセッションでは「農村で生きる~今、そして未来に価値~」をテーマに農村の未来について語り合います

開所式終了後、まちむらづくり塾を開催します。引き続きご参加ください。

まちむらづくり塾

~やっぱり農村で暮らすことは誇らしい~

自然災害と向き合い、自然と共生した農村での暮らしや生業、今後どのような活動をしていったらいいのか、参加者全員で考える講座を開催します。

開所式とまちむらづくり塾の詳細、申し込みについては裏面をご覧ください。

開所式（13：00～14：50）

- 理事長あいさつ 飯豊町長 後藤 幸平
- 研究所についてのご紹介 所長 糸長 浩司
- トークセッション

自然の驚異に向き合い、農村で生きる
～今、そして未来につなぐ価値～

進行役
登壇者

- 山田 泰司 様 （「日本で最も美しい村」連合資格審査委員）
- 斎尾 直子 様 （東京工業大学准教授）
- 林田 光祐 様 （山形大学副学長）
- 小林 志津可 様 （株式会社伊藤造園土木）
- 小野 優太郎 様 （地域おこし協力隊）
- 後藤 幸平 （飯豊町長）



これからの農村の未来への期待、引き継ぐ資源など、どんな方法があるのか語り合います。

まちむらづくり塾（15：00～17：15）

- テーマ 農村資源を活かし、自然と向き合うSDGsの暮らし
- 報告 8月3日の大雨による災害の調査報告 など

報告者の意見交換、そして会場の皆さんと防災を考えたこれからのまちづくりについて情報交換をします

翌日の11月13日（日）に今回の被災場所の現地視察を予定しています。

いいで農村未来研究所ってどんなところ？

農村の文化や伝統、知恵を次世代に継承し、多様な主体との連携によって、新たな災害にも向き合う知恵を開発し、農村の未来のかたちを描いていく研究所です。住民主体のまちづくりの歴史を更に進化させ、誰もが気軽に相談・交流できる取り組みや居場所づくりを進めていきます。詳しくは広報いいで8月号11ページをご覧ください。

問合せ・申込み先

※いずれかの方法で参加される方の①氏名、②職業、③在住市町村、④連絡先（メールアドレス等）、⑤参加方法（会場orオンライン）をお伝えください。

【事務局】いいで農村未来研究所事務局（飯豊町企画課総合政策室）

TEL 0238-87-0521 Fax 0238-72-3827

Mail i-seisaku@town.iide.yamagata.jp

QRコードから申込み
できます⇒

